

テーマ：一気に脱着出来る心電図電極

■ 背景

- 心電図検査は健康診断では必ず行われるもので、また手術前にも必ず行う。それ以外に診断のためにも行われるポピュラーな検査である。
- 心電図を測定する際は、通常左右の手足4か所へ四肢電極および胸部4か所へ胸部電極を装着する。胸部の6か所はそれぞれ装着する位置が決まっており、装着位置が1肋間ずれるだけで、記録される波形が大きく異なることもある(正しく評価できません)。
- 一刻を争う緊急時には手間になる。



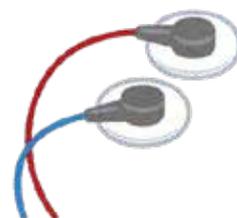
■ 課題

上手い看護師がやれば非常に早く脱着できるが、経験・スキルが十分でないと脱着にかなり時間がかかることがある。力任せに引っ張ると受診者の皮膚を傷める、あるいは断線を引き起こす可能性がある。

その場合、健康診断では受診者の待ち時間が長くなることに繋がり、場合によっては他の看護業務へ支障をきたすことも考えられる。

機能アイデア例

- 電極を貼付位置に貼れるように、予め1つのシート状のものにまとめてある。
- 体格に合わせてL、M、Sくらいのサイズがあればよい。



<出典：看護roo!>

■ 市場性

地域の総合病院は勿論のこと、多くの診療施設には心電図測定装置がある。近年では感染症防止や使い易さに優れる点が評価されて Disposable 型の電極が急速に普及している。2021年には Disposable 型の電極の市場シェアは65%に達している。しかしながら、脱着の手間は同様である。電極脱着が簡便に行える製品なら全ての電極製品へ応用されるかもしれない。

■ 看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>